

本塁打級の喜び

新座市立池田小6年

平田 柚季 12(新座市)

私の父は絵がとても上手で、影響を受けたのか私も絵を描くことが大好きです。そんな父に「上手くなっただね」とほめてほしくて、私は必死に練習しています。

ところが自信作が描けても、父はいろいろと教えてくれるものの、絶対にほめてはくれません。

実は、絵が上手になっっていくのは私ではなく父だったのです。あまりの悔しさ、ある日5時間くらいかけて作品を仕上げました。

完成した女の子をテーマにした絵を、ドキドキしながら父に見せました。すると父は、「上手くなっただね」と初めてほめてくれたのです。まるで今まで一度も打ったことのなかったホームランを、自分の努力で打ったような感動に包まれました。

「また、上手くなっただね。再び父にほめてもらえるように絵を描き続けていきます。」